

「二人の外国人建築家／タウト&レーモンド in 群馬・高崎」

●はじめに

昨年の東日本大震災以降、建築家は何を考えてきたのか？と問われています。

1960年代の高度成長期からバブル崩壊、そしてニューヨーク 9.11、阪神淡路大震災そして昨年の東日本大震災があり、現在放射能を含めた環境汚染・エネルギーが大きな問題になっています。この状況の中で建築家は役に立ったのだろうか？

大震災の中から大きく復興へ向かう人々の姿の中に「日本人が忘れかけていた何か？」を感じさせるものが見えた気がします。

●二人の外国人建築家

1933年5月ナチスの圧政から逃れて来日し3年半の滞在の大半の2年3ヶ月を高崎に寓居し、日本の美と文化を世界に紹介したドイツ生まれの建築家ブルーノ・タウト。

1919年12月に帝国ホテル設計のため、フランクロイド・ライトの助手として来日し、日本で活躍したアントニン・レーモンド設計のコンクリート打放しの代表的な建築である群馬音楽センター。麻布笄町のレーモンド邸の写しである木造住宅の旧井上房一郎邸が現存する群馬県・高崎市。

日本の気候風土に培われてきた健全で簡素な美と文化に大きな衝撃を受け、何かを感じ、その後日本の建築界に大きな影響を与え、日本から世界に発信した二人の外国人建築家が日本の中に何を見たのか？

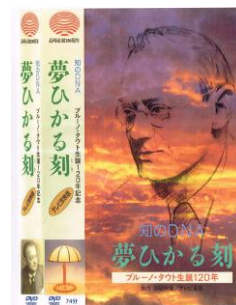
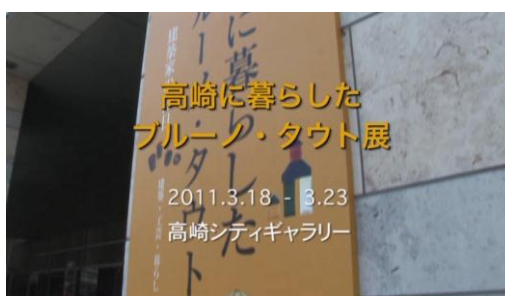
この二人に縁のある群馬で、連続企画「二人の外国人建築家／タウト&レーモンド in 群馬・高崎」を中心軸に「日本のものづくりの原点」を探りながら、これからの「日本のかたち」を考え発信していきます。

連続企画第1回 ～ ブルーノ・タウトの映像を中心に～

◆ 趣旨説明

◆ DVD映像 ブルーノ・タウト生誕120年記念・ブルーノ・タウトの会制作 「知のDNA 夢ひかる刻」解説と鑑賞

◆ 見学・解説 旧井上房一郎邸



開催日時 2012年6月23日（土） 開場13:00 開始13:30 終了16:30

場 所 高崎市南公民館5階講義室（高崎市八島町110-27 TEL027-324-8059）

（高崎駅から徒歩5分・高崎市立美術館ビルの5階です）

主 催 （社）日本建築家協会関東甲信越支部群馬地域会

共 催 ブルーノ・タウトの会 日本建築学会関東支部群馬支所

協 力 群馬音楽センターを愛する会 NPO 高崎哲学堂

後 援(予定) 群馬県 高崎市 高崎市教育委員会 NHK 前橋放送局 上毛新聞社 その他

参加費 無料

詳細ページ URL http://jia_gunma.typepad.jp/jia/

問合せ申込み先 JIA群馬地域会 事務局（上原和彦）

TEL:090-9019-6466 FAX:027-224-6112 E-mail: gunma@jia-kanto.org

所属・お名前・ご連絡先電話番号を明記の上、上記あてお申込み下さい。